

## <学習内容>

- ▶ 自然環境
- ▶ 農業
- ▶ 工業
- ▶ 文化

# 自然環境 ①

## ■ 地形



▲ 白神山地



▲ 奥羽山脈



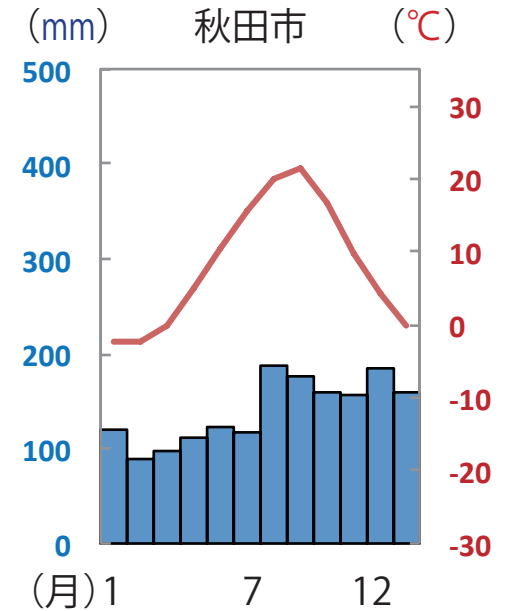
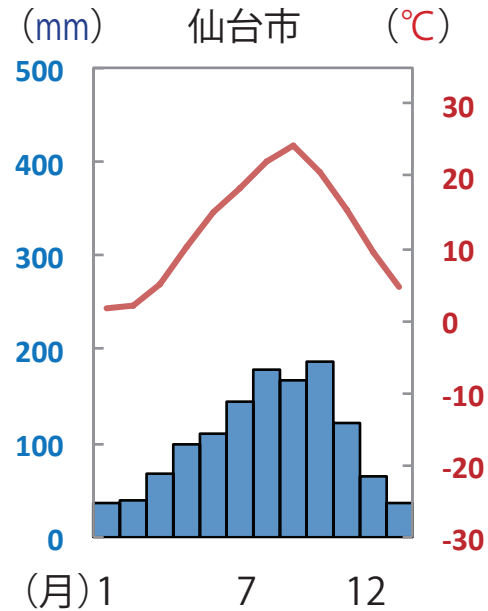
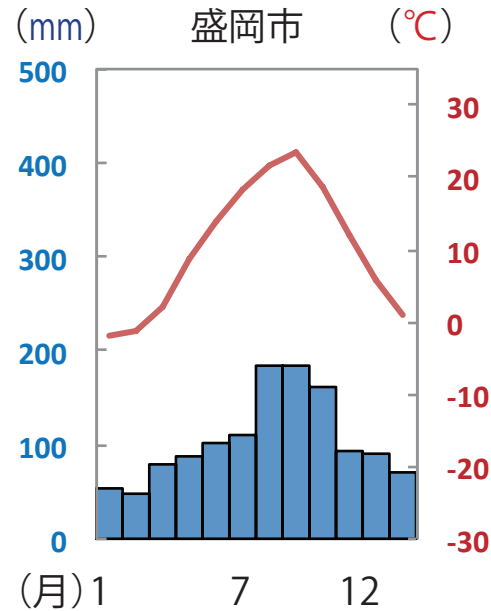
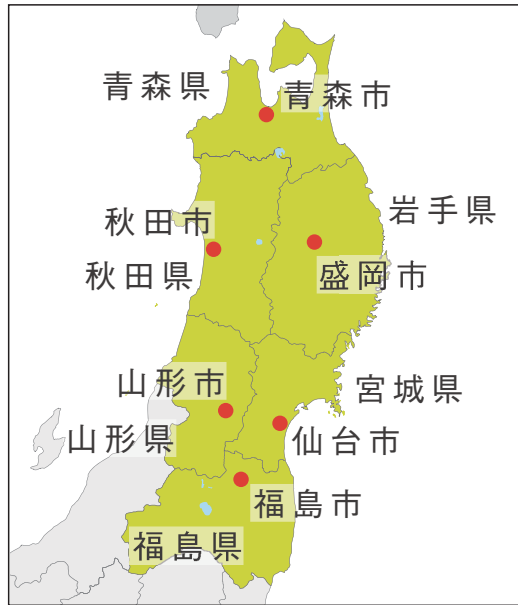
▲ 北上高地



▲ 八郎潟

# 自然環境 ②

## ■ 気候



やませ：寒流の親潮（千島海流）の影響でやませと呼ばれる冷たく湿った北東の風が吹く

# 農業 ①

## ■ 稲作

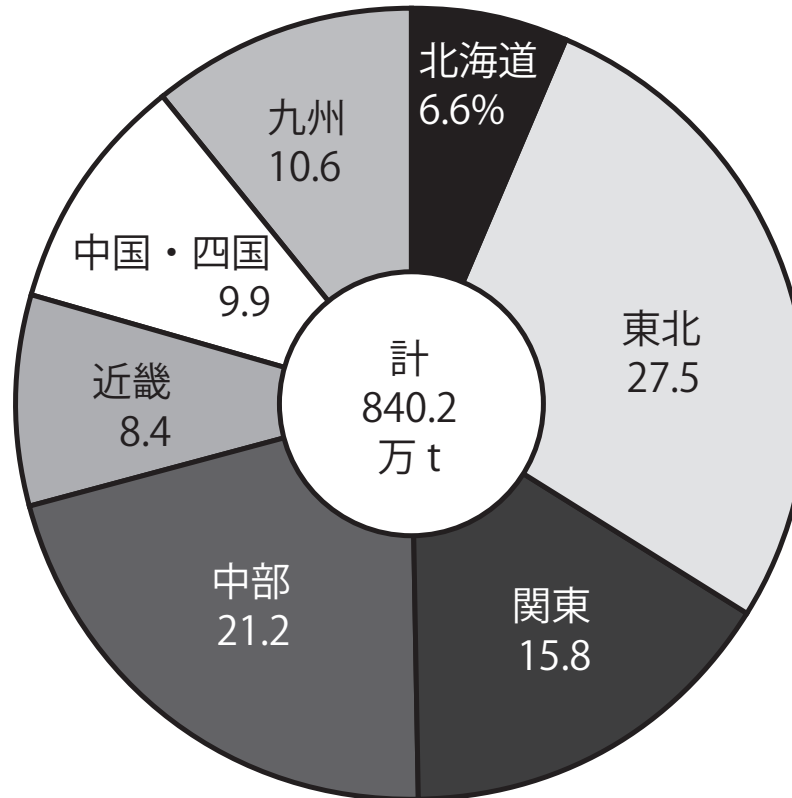
秋田県や山形県，宮城県では稲作がさかんである。



▲秋田平野 (秋田県)



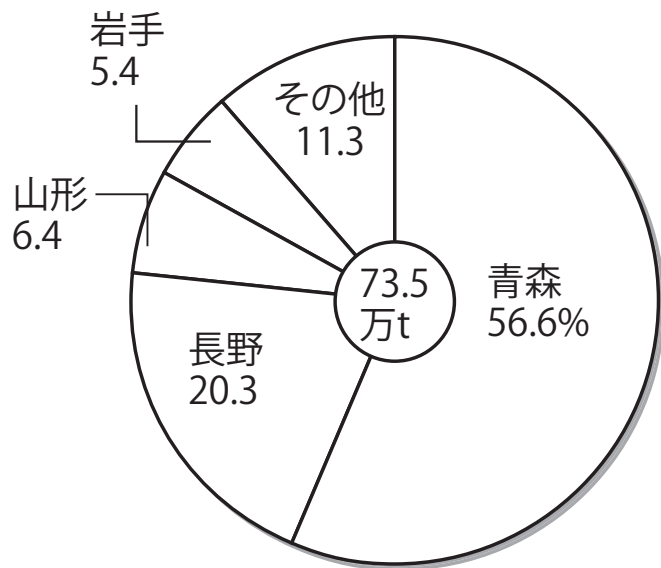
▲庄内平野 (山形県)



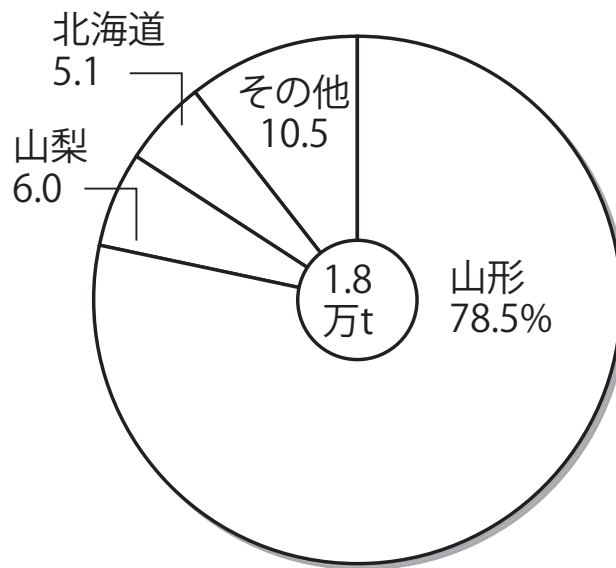
▲米の生産量の地方別割合 (2018)

## ■果樹栽培

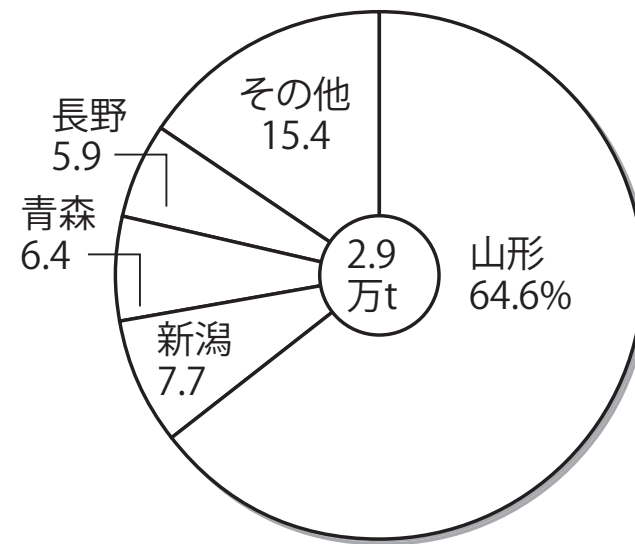
青森県ではりんごが，山形県ではさくらんぼや洋なしが，福島県ではももの栽培がさかんである。



▲りんごの生産量割合 (2017)



▲さくらんぼの生産量割合 (2018)



▲洋なしの生産量割合 (2017)

## 農業 ②



◀りんご(世界一)



◀洋なし(ラ・フランス)



◀さくらんぼ(佐藤錦)

### ■ 牧畜

岩手県の北上高地では肉牛などの牧畜がおこなわれている。



▲前沢牛リブローズ

## 四択問題

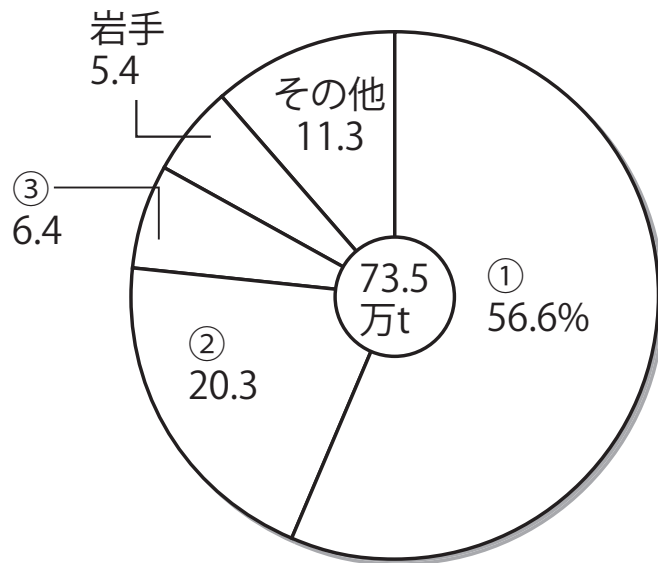
東北地方の気候について述べたものとして、最も適当なものを次の①～④の中から一つ選びなさい。

- ① 冬の季節に日本海側ではあまり雪が降らない。
- ② 一年を通して温暖で降水量が少ない。
- ③ 太平洋側は、夏でも気温が上がらない日が続くことがある。
- ④ 太平洋側には、暖流の黒潮の影響を受けてやませという冷たく湿った北東の風が吹く。

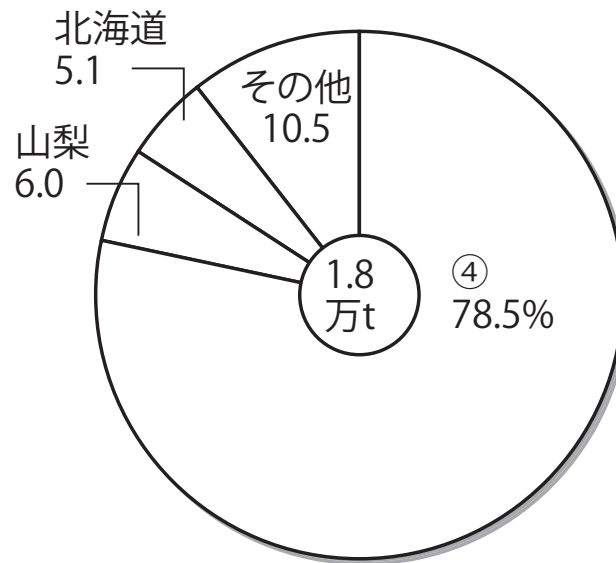


# 四択問題

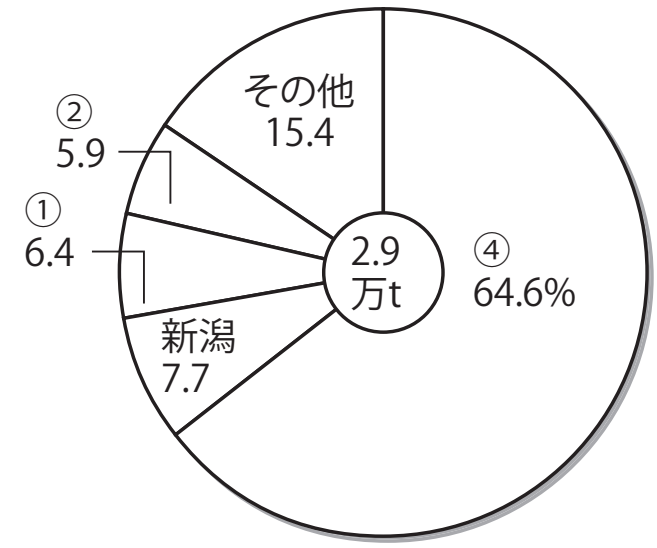
次のグラフの①～④の中から青森県を示しているものを選びなさい。



▲りんごの生産量割合 (2017)



▲さくらんぼの生産量割合 (2018)



▲洋なしの生産量割合 (2017)

# 工業 ①

## ■ 伝統産業

東北地方では、冬の間は農業ができないので、地元の森林資源や鉱産資源を利用しながら、さまざまな工芸品が作られてきた(伝統産業)。

## ■ 東北地方の伝統的工芸品

- つがるぬり  
• 津軽塗 (青森県)
- 南部鉄器 (岩手県)
- 宮城伝統こけし (宮城県)
- かばざいく  
• 樺細工 (秋田県)
- あいづぬり  
• 会津塗 (福島県)



津軽塗



南部鉄器



宮城伝統こけし



樺細工

## 工業②

### ■新しい工業

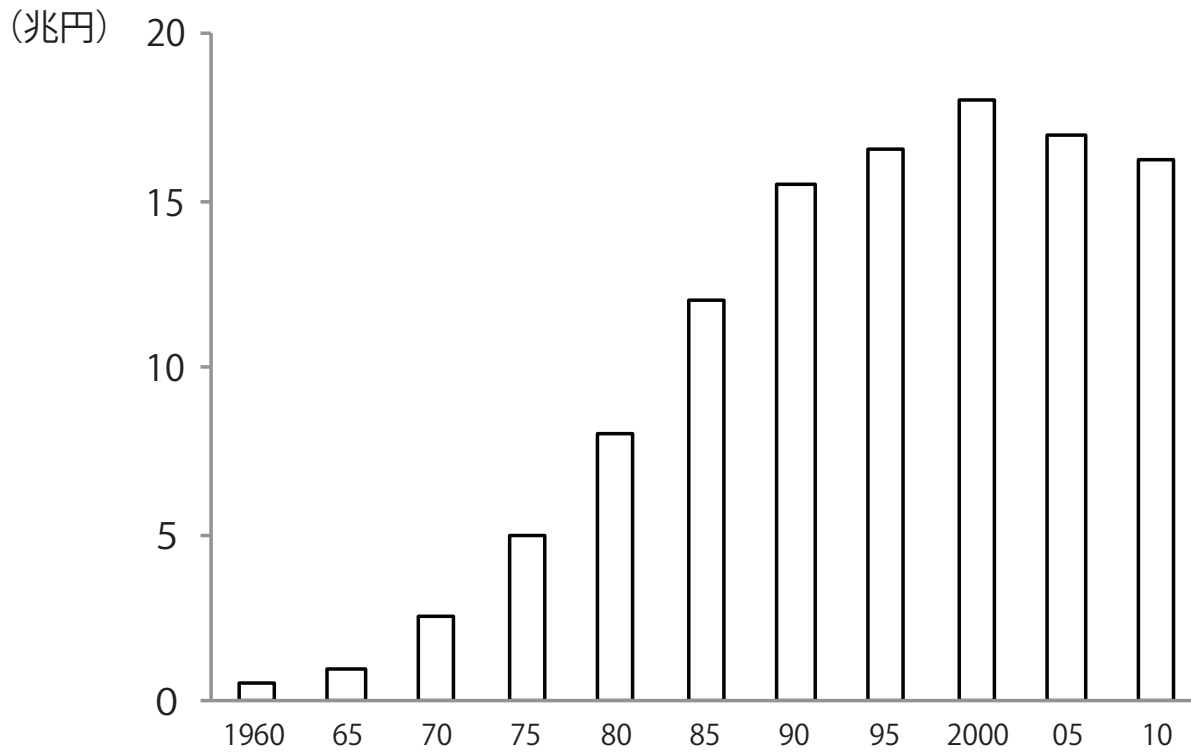
1970年代～1980年代に東北新幹線や東北自動車道などが開通すると、関東地方と短時間で行き来できるようになった。

⇒電気機械をつくる工場などが、広い用地と労働力を求めて、高速道路の周辺にある**工業団地**を中心に、進出してきた。

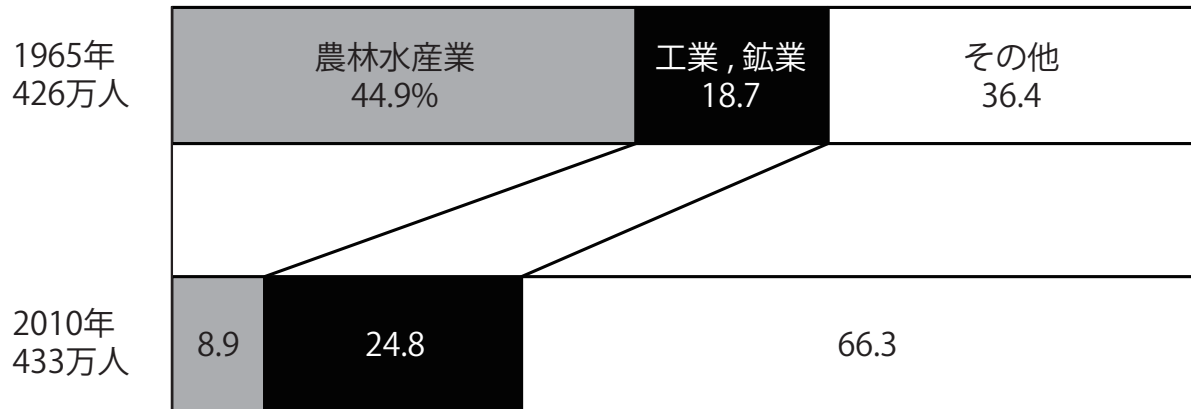


(注) ●は工業団地(30ha以上)を、  
—は東北自動車道を表している。

# 工業 ②



◀ 東北地方の工業出荷額の変化



▲ 東北地方の産業別人口の変化

## ■東北地方の祭り

米の収穫に感謝してさまざまな祭りがおこなわれる。



▲青森ねぶた祭り（青森県）



▲仙台七夕祭り（宮城県）



▲盛岡さんさ踊り（岩手県）



▲<sup>かんとう</sup>秋田竿燈祭り（秋田県）



▲<sup>はながさ</sup>山形花笠祭り（山形県）

## 入試問題（平成 27 年度 青森県公立高校入試問題・改）

東北地方の伝統産業について述べた文として、適切でないものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

- ① 農作業ができない冬の家内での仕事として、発達した。
- ② 地元の森林資源や鉱産資源を利用して、さまざまな工芸品をつくっている。
- ③ 日常生活の変化にともない、新しいデザインの製品をつくる動きが見られる。
- ④ 働く場を求めて多くの若者が職人となり、職人の高齢化に歯止めがかかった。